

やまたらけ

YAMADARAKE

待望の永久橋が

でききるまで

初代弁天橋

急峻な山々に囲まれる早川町。その深い谷底を急流早川が流れている。

昔の早川町は、現在の身延町切石から中山、千須和、草塩、保を経て、湯島、奈良田を通る早川往還が早川入りへの表街道だった。当時の早川左岸の人は、右岸に出るのに生活道路として丸太橋を架けたり、飛び石を使って渡ったりした。けれども、橋を架けても、大雨や台風で流されてしまい、多くの人が「大雨にも台風にも流されない立派な橋がほしい。」と強く思っただろう。

現在は、県道南アルプス公園線が町民の主要道路となっており、町内には集落を繋ぐ数多くの永久橋が架けられている。これらの橋は、橋ができたという便利さだけでなく、集落と集落の交流、橋が欲しいと思う町民の気持ち、大きく言えば早川町民の心を代弁したものとなっている。

今号では、千須和と小縄を繋ぎ、弁天島を中間とする「弁天橋」。そして、西山温泉の下流に位置し、渓谷美としての評価が高く、多くの災害を乗り越えてきた「見返橋」にスポットを当てる。橋の名前の由来とともに、現在の永久橋が架けられるまでに集落の人がどう過ごし、どう乗り越えてきたのかを紐解く。

(若林一彦、望月千加)

舟



今は昔、早川が大荒れしたときに流れ着いた木造の弁天様(雨畑)方面からと春木川方面からとの説がある)を集落の人が見つけ、福が舞い込んだと喜び弁天堂を作り記った。その敷地は弁天島として集落の人に親しまれている。弁天島の中心まで川が流れたことがあったが、弁天堂は流れたことはないという話もある。今でも弁天島では一月二十六日の日に、千須和と小縄が交互にお祭りを行っている。昭和までは、相撲を取ったり、屋台が出たりとそれは賑わっていたそう。その弁天島に架かり、千須和と小縄を繋ぐ橋を弁天橋と呼んでいた。弁天橋は、弁天島を境に千須和側と小縄側の形状が違うという特徴も持っている。

今回は、橋にまつわるエピソード



ドや橋の歴史を振り返り、集落の人々が弁天橋を介してどういった生活をしてきたか、どんな交流があったかなどを探る。

初代の弁天橋

昭和十四年に竣工した。幅二尺くらいのつり橋であったが、千須和の人々が小縄へ出るための唯一の生活道路となった。この橋の竣工記念碑を今も弁天島で見ることができ。そこには、五箇の村長を中心とし一致団結した結果、竣工したと書かれている。



二代目弁天橋

初代と同じくらいの幅のつり橋であった。その真ん中に、幅二尺位の板を敷きその上を人が歩いてきた。その当時のエピソードを集落の方に伺った。

橋の上を自転車で渡る先輩がいて、子ども心に憧れていた。

橋がデイトスポーツになっていった。敷かれた板の両脇が開いていたので、そこから

足を出して座り、男女が語らう場面もあった。実際にそれで結婚した人もいて、弁天さんが結んでくれた縁と言う人もいた。

一人渡るのには大変危険な橋であったが、子ども達はそんな橋も遊びの一つとして印象深い橋だったとかがい知ることができる。

三代目弁天橋

三代目もつり橋であった。橋の幅は小型の車が渡れるくらいで、車の重さで橋が大きくたるといふ。大風などで橋がひっくり返ってしまい、寿命としては短かったようである。

四代目弁天橋

三代目と同じつり橋であったが、強風で横揺れをしないように引張線が付けられた。そのため、多少の風ではびくともしなかつたようである。

弁天橋については、この他にもいろいろお話を伺った。

・台風や大雨で橋が流れてしまったときには、「くりこし」^{※1}を使って渡った。ロー

プが挽み水しぶきがかかりとても怖い思いをした。

橋が長く、大雪の日には橋が落ちてしまう恐れがあった。そのため、雪かきは、千須和の方が昼間2人、夜間4人の当番制で行っていた。千須和から小縄まで雪かきをする、千須和側はもう雪が積もっていることが度々あった。

バス停では、バスを待つ間、人々のちよつとした交流の場にもなっていた。小縄には、橋本屋さん(駄菓子、米、酒を販売)、タバコ屋さん(塩、タバコなどもあり、生活に関わる物資を大体揃うことができた)。

現在は、町内外の移動は、弁天橋を渡り、県道南アルプス公園線を自動車で行るのが主流である。かつては、現身延町切石から早川町の諸村へ往来する早川往還^{※2}が一番の道であったので、急流早川を挟み対岸を眺めた時、車やバスが往来する県道に渡



くりこし(早川町) 資料提供元: 著者 村田一夫、「富士川」村田一夫写真集 1999年4月1日改訂発行

ることは、千須和の人々にとって大きな願いとなった。そのため、弁天橋ができた時の喜びは想像に難くない。橋自体も、技術の進歩や知恵を出し合い改良され、大きな災害を乗り越えてきた。その間には今回伺った楽しい思い出ばかりだけでなく、辛く大変な出来事もあっただろう。

今の弁天橋は、そういった人々の苦労の末にできたものであり、集落の人々が弁天様を大切に守ってきた歴史や思いも込められている橋である。今回の取材を終えて、今当り前のものとして存在する橋は便利さだけでなく、人と人との交流、橋がほしいという切なる思いが詰まった、生活そのものの橋であることを強く感じた。

※1「くりこし」：人力のロープウエイのような乗り物。人の行き来や物資の運搬などに使った。箱に繋がったワイヤーを自分の方へたぐりよせて進む。

※2「早川往還」：現在の身延町中山から千須和、草場、保を経て湯島、奈良田を繋ぐ早川入りへの表街道だった。ガレ場や浅瀬橋(丸太木をかいただけの橋)などの多い、悪路、難路だった。



見返橋

の人々への取材を通して、紐解いてみる。

大きな災害を乗り越えて

南アルプス公園線は、これまでに風水害による土砂崩れの被害を何度も受けている。中でも被害が大きかったのが、昭和29年の台風や昭和34年の伊勢湾台風、昭和57年の台風などである。昭和57年8月の台風10号は、昭和34年の伊勢湾台風をはるかにしのぐ被害であったという。当時の様子を、日報として記録していた当時の区長 蓬萊館の天野清次さんや、その他の文献から得た情報をもとに振り返ってみる。

見返橋は、湯島の湯と西山温泉の間に位置し、西山温泉の宿泊客や、それに関わる行き来としても頻繁に使われていた橋の一つである。見返橋の付近は、景観美として優れていることで古くから評価されているが、これまでにどんな歴史を辿ってきたか、文献や地元

早川町や旧芦安村は道路が寸断され、孤立状態になり、災害救助法が適応された。被害は、他にも旅館の流出、床上・床下浸水、電柱の倒壊、電話線の切断などであった。西山温泉がある温泉集落では、住民と宿泊客の計約三百名が被害に遭った。奈良田(現在奈良田

湖の広い敷地になつてゐる場所)には、自衛隊のヘリコプターが着陸し、生活物資の搬入や人命の救出が行われていた。救援物資運搬は4回に及んだという。通信は約2週間、電気は1週間以上、平常に戻るまでの時間を要した。見返橋は流出したが、およそ3週間後に仮橋により通行可能になった。被害を受けてから1ヶ月後の9月に、南アルプス公園線の全面通行可能となった。けれども、死者や病人、怪我人は一人も出なかつたそうだった。なぜなら、集落の人々が危険箇所や危険水位をよく知っていたり、日常各家庭で災害時に備えて、考え、行動していたりしていたからだという。また、宿泊客の恐怖や不安、パニックを最小限にとどめるため、各旅館主は、被害状況・復旧の見通しの説明や旅館主との総合的な協力をしたとのことだ。

現在の見返橋は、台風10号で流出した後、に、永久橋として昭和59年に竣工した。見返橋の名の通り、宿泊客など多くの方々にも景観美として魅了したのはまぎれもない事実である。また、生活道路や観光客向けとしても、この近辺の集落を結ぶ、なくてはならない橋であることがよくわかった。

見返橋の由来

見返橋の名前の由来は様々な説がある。
・紅葉の時期などは特に、素晴らしい景色を見ることができたため、振り返った。
・急峻な谷あいなので、氾濫や崖崩れがなにか心配して「大丈夫か。」と振り返った。
・昔は、「湯十日」といって、行き帰り各1日と中8日温泉宿に滞在し、食料を持って行き自炊していた。そのようにして知り合ったり、交流を深めたりした宿泊客が、「宿泊して良かった。」と振り返った。

景勝美、渓谷美

見返橋周辺は、川幅が狭くなり、大小様々な岩が点在している。渓谷の両岸には木々の萌え始める新緑や秋深まった頃の紅葉など、四季折々の渓谷美を楽しむことができる。次に挙げるように、過去にも様々な方面で評価されている。

・町誌によると、「見返橋を中心とした上下約600mを見返渓谷」として、早川随一の景観で優れた地域である。」と紹介されている。
・静岡山梨両県内における景勝地のコンテストが昭和の初期頃行われ、約23万票の得票

の第2位として西山温泉が選ばれた。橋の左岸には、

「甲斐之名勝 西山温泉」として、昭和のはじめに高さ5.6mの記念碑が建てられた。

・早川渓谷と西山温泉が県民の推薦を得て、昭和25年、山梨日日新聞社の主催する「山梨新十景」として入選したことがある。

奈良田—温泉—下湯島 まで繋ぐ見返橋

新倉(あらくら)以南の集落は、その北部より先にバスが通っており、北部までの移動手段はトロッコや徒歩であった。下湯島には、3、4件の家がトロッコを持ち、馬がそれをひいていた。奈良田は、昭和15年にトロッコが通るようになるまで、主に丸山林道を使って、富士川町(旧増穂町)と物々交換をしていた。山道は、崩れやすい箇所もあったりと様々な危険な要素がある。そのため、南アルプス公園線の町内全面通行や見返橋が永久

橋となったことは、大きな安心感につながったことだろう。

一方で、この近辺は山がすぐそばまで迫っていることや、川幅が狭いなどの理由から、災害時は大きな被害を受けやすい場所であるともいえる。今の橋が完成するまでには、数々の困難を乗り越えてきた。このような経験は、たくましく生き抜いてきた。やまびと像の側面を表しているといえる。

令和に改元されてから約3ヶ月。大きな災害が起こらず、平和な時代となるよう願わずにはいられない。

最後に、今号で近藤文男さん、望月信さん、長谷川空五さん、蓬萊館の天野清次さん、深本梅次郎さん他、多くの方々にご協力いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



一早川集落伝統の味噌作り復活祭一

早川集落で、昔から行われてきた味噌作り。大きな「かぶら桶」で集落中の大豆を蒸して、味噌を作っていました。

第2回・大豆の種まき祭!

味噌の材料になる、早川の地大豆をみんなでまきます!

日程/6月22日(土)

8:30 受付開始(おば店)
9:00 集合
9:45 早川集落移動(送迎)、説明
10:00 作業開始
12:00 作業終了
12:30 片付け、解散

場所/早川町早川集落 公民館裏の畑

費用/エコファーム会員は無料(体験会員・大人1,000円~)

一般大人・1,500円 小人・1,000円 幼児・無料

定員/30名(要予約)



第3回・草取り祭&生きもの観察!

農業を使っていない大豆畑で、草を取りながら畑に住む生き物を観察します!

日程/7月27日(土)

8:30 受付開始(おば店)
9:00 集合
9:45 早川集落移動(送迎)、説明
10:00 作業開始
12:00 作業終了
12:30 片付け、解散

場所/早川町早川集落 公民館裏の畑

費用/エコファーム会員は無料
(体験会員・大人1,000円~)

一般大人・1,500円

小人・1,000円

幼児・無料

定員/30名(要予約)



上記2イベントの問い合わせ連絡先、付随する説明がある場合:

NPO法人 早川エコファーム

TEL:0556-48-2817

E-mail:info@eco-farm.or.jp

http://www.eco-farm.or.jp/

*東京からの送迎バス、共同宿泊所もあります。詳しくはお問い合わせください。

はやかわキッズレンジャー
キャンプ夏編

南アルプスの麓・早川町の自然を守る「はやかわキッズレンジャー」。レンジャーキャンプの夏編では、森や原っぱ、河原など様々な場所に住む生きものたちを調べよう。調査だけでなく、暑くなる日中は川遊びで涼んじゃおう!仲間と協力して火を起こしてアウトドアクッキングもしてみよう。

日程:①7月28日(日)~7月30日(火)2泊3日

②8月20日(火)~8月22日(木)2泊3日

対象:小学2年生~6年生

参加費:子ども33,000円(2泊6食付・税込)

定員:各回20名

送迎:新宿駅より専用送迎バスがごさいます

締切:7月21日(日)(先着・定員になり次第締切)



もりもりキッズ

夏野菜で青空クッキング

夏のもりもりキッズは、生きものいっぱい農園で夏野菜を収穫しましょう!農業を使わない畑には小さな生き物たちもやってきます♪夏野菜を収穫しながら、畑にやってくる生きものたちの不思議にも迫りましょう。昼食は集めた食材を使って、青空の下でクッキング!

日程:8月31日(土)~9月1日(日)1泊2日

対象:3歳~年長のお子様のご家族

※対象外のお子様も同伴は可能。

参加費:大人 10,000円/名(1泊3食付・税込)

幼児 4,000円/名(1泊3食付・寝具なし・税込)

定員:7組

締切:8月24日(土)(先着・定員になり次第締切)

南アルプスの清流で
川遊びプラン

暑い夏は南アルプスから流れる清流で遊ぼう!川を流れてみたり、生きものを探してみたり、南アルプスの清流を全身で感じて楽しもう!ライフジャケットをつけて遊ぶので、泳げない小さなお子様でも安心です。家族で過ごす、とびきり楽しい夏休みの思い出を作りましょう!

日程:7月24日(水)~8月25日(日) 期間中の1泊2日

対象:小学生以上

参加費:大人8,000円(1泊2食付・税込)

小学生7,300円(1泊2食付・税込)

定員:各日30名

締切:各宿泊日の3日前



上記3イベントの申込:

南アルプス生態邑/ヘルシー美里

TEL:0556-48-2621 FAX:0556-48-2622

HP: http://www.hayakawa-eco.com/

E-mail: info@hayakawa-eco.com

霊峰七雲山の登山口であなたの旅を支える

株式会社
依屋観光

株式会社
依屋旅館

〒409-2732 山梨県南巨摩郡早川町高住 621
電話 0556-45-2500

全館貸切が得意!地域の暮らしを守る!

早川建設株式会社

【本社】〒409-2732 山梨県南巨摩郡早川町高住 645-27
TEL:0556-45-3000 FAX:0556-45-2268
【生コンクリートブランド】TEL:0556-45-2700
http://www.sote3000.com/

大めで噛みごたえのある
香り豊かな旨みながらの
「田舎そば」

そば処
アルプス

電話:0556-48-2666
〒409-2732 山梨県南巨摩郡早川町高住 645-27
TEL:0556-45-3000 FAX:0556-45-2268
http://www.h-aiya.jp

サイトテック株式会社

SAITOTEC

◆ドローンの設計・開発・販売・保守・サービス全般
南巨摩郡身延町寺沢3250
TEL:0556-48-8378 FAX:0556-48-8387
www.saitotec.co
※各種ドローンセミナー受付中、お電話下さい。

南アルプス街道の交通安全と
清流早川の自然を守ることを永遠のテーマに
地域社会の発展に貢献する事を目指します。

早川砂利協同組合

理事長 分上 謙一郎
山梨県南巨摩郡早川町小橋 26
電話 0556-45-2450

早川町で感動体験を...
南アルプス生態邑
光源の里温泉 ヘルシー美里
南アルプス邑野鳥公園

ご予約・お問い合わせ
TEL/0556-48-2621
http://www.hayakawa-eco.com/hmisato/

広告主募集中!

上流研では、本スペースまたは裏表紙に
掲載される広告主を募集しています。

- やまだ発行:年4回(3,6,9,12月)
- 広告料金:年間21,600円
- 大きさ:幅63mm、高さ41mm

ご関心のある方は上流研まで!

世界大会目前の今、ぜひ読みたい一冊!!

**ラグビーが
教えてくれること**

村上晃一 著 **好評発売中!**

ラグビーの魅力や様々な人の話を通じて伝えるスポーツノンフィクション。
A3判/144P ★定価1,404円(税込)

あかね書房
〒191-0055 東京都千代田区神田3-2-1
TEL:03-5263-0641 http://www.akanebooks.jp

日新火災海上保険 代理店
日新火災

幅野保険事務所

〒409-3306
山梨県南巨摩郡身延町夜子沢4020
TEL:090-8014-1337
FAX:0556-42-3073

ENEOS

浜田屋商店
電話 0556-48-2311

生命保険、損害保険のことなら
株式会社 **さいとうエージェンシー**
tel:055-280-3350 fax:055-280-3361

自動車販売、オートリース、レンタカーのことなら
株式会社 **S・T・E・P**
tel:055-280-3350

sun life

〒400-0422 山梨県南アルプス市駒沢 1356-1

新築、改装、マイホームの事なら何でもおまかせ

日本建築のプロフェッショナル
株式会社 **望月工務店**

〒400-2713 山梨県南巨摩郡早川町伏 1766
TEL・FAX 0556-45-2661



No.07 早川南保育所 もりもりキッズ

早川南保育所は、昭和62年に設立しました。現在は町内で唯一の保育所で、園児は全部で9名。2019年4月から20代の男性保育士が2名入り、フレッシュになりました。

5年ほど前から始まった「もりもりキッズ」は、ヘルシー美里のスタッフが自然や生き物について教えてくれる、月に1回行われている年間行事の一つです。今回は、2019年4月のプログラムに同行してきました。また、早川町で生まれ育ち、お子さん3人のうち2人が南保育所を卒園し、末っ子が在園中の望月さんに、保育所の今について伺いました。



～望月さんプロフィール～
・早川町役場の職員。
・早川町で生まれ、育つ。
・3人のお子さんのお母さん。

「もりもりキッズ」に同行して

4月の「もりもりキッズ」は、野鳥公園に出向き、鳥や巣箱の中の様子を観察するプログラムでした。前半は、建物の中からガラス越しに、どんな鳥が飛んでくるかを双眼鏡を使って探しました。鳥を発見し、「見つけた！」と嬉しそうに声をあげる園児達に、「こんな特徴のあるものがお父さんで・・・。」と説明していく野鳥公園のスタッフ。後半は、以前の「もりもりキッズ」でかけた巣箱の中をピンセットで少しずつほどこきながら、見ていきました。コケや棉、鹿の毛などからなっていました。親鳥がせせせと口ばしで運んだんですね。子ども達は自然に興味を持ち、見て、触って、知る事ができているのだとよく伝わってきました。年間のプログラムは、時期や園児の興味に合わせて決めていき、年間を通し自然に触れる機会があります。

保護者に聞いた南保育所の魅力

望月さんの思う保育所の魅力は、「少人数なので、保育士さんの目が子どもに行き届きます。異年齢同士の活動が多く、毎日の生活の中で自然に学力や社会性が身に付いていると感じます。」と話されていました。「もりもりキッズ」に関しては、「大自然の中、専門のスタッフが様々な発見や遊びを教えてくださいます。また、野菜嫌いだった子どもが「もりもりキッズ」でヨモギを天ぷらにして食べてから、家でも食べるようになりました。」とおっしゃっていました。でも、「年に数回、雨で県道が通行止めになると保育所まで迎えに行く事があり、仕事をしている人には大変かもしれません。」ともおっしゃいました。子どもの数が減り、保護者も危惧する事も多いでしょうが、上流研としても何かしらの形で役に立てられればと思います。

次回予告！(2019年9月上旬お届け)No.90

日本の地質は、糸魚川-静岡構造線を境にして大きく異なる。新倉(あらくら)ではその逆断層の露出を見ることが出来る。日本列島の成り立ちとともに、地層と地層が押し合ってきた早川町の地質の特徴を紹介する。

全館空調 掛け流しの湯

慶雲館

山梨県南巨摩郡早川町新倉 344
TEL 0556-48-2111
FAX 0556-48-2611 <http://www.ketunkan.co.jp>

新倉田温泉 七不思議の湯

白根館

山梨県南巨摩郡早川町新倉 344
TEL 0556-48-2711
FAX 0556-48-2770
www.nukyu.com/shironekan/

やまだらけ定期購読のお願い

「やまだらけ」では、今後も「山の暮らしの価値」と、それを後世に守り伝える人々の活動を応援して参ります。

やまだらけは、広告料と会員の皆様の会費で成り立っています。会員の皆様には、やまだらけを毎月お届けいたします。会員として、この取り組みを支えてください。

【年会費】正会員：10,000円 賛助会員：3,000円

【振込先】ゆうちょ銀行 〇二九店
当座 0095644

【名義人】特定非営利活動法人
日本上流文化圏研究所

橋にまつわる歴史やエピソードをご紹介しましたがいかがだったでしょうか。紙面上、載せきれない部分が多々あります。口惜しいのですが、Webサイト「奥山冥利」なども活用して、できる限り多くの事をお届けできればいいなと思っています。(望月千加)

【山を覗けば宝の山】
やまだらけ

発行元/NPO法人日本上流文化圏研究所
住所/山梨県南巨摩郡早川町葉袋430
電話/0556-45-2160 FAX/0556-45-2268
<https://joryuken.jimdo.com/>